

家庭状況調査 記入要領

(様式 1-2)

本人	通学区分	※115 1:自宅 2:自宅外		前年度奨学金 受給年度額 (千円)							
	奨学金 受給状況	26年度 日本学生支援機構奨学金※116 1:一種 2:二種 3:併用 月額(81)千円×(12)月 4:その他の奨学金(貸与・給付) 名称() 月額()千円×()月	25年度 日本学生支援機構奨学金 1:一種 2:二種 3:併用 月額(51)千円×(12)月 4:その他の奨学金(貸与・給付) 名称(〇〇〇奨学金) 月額(30)千円×(12)月	117							
就学	続柄	氏名(年齢)	設置区分	学校種別	通学区分						
		学校名(学年)									
兄弟	兄	岡大 冬男 (22才)	※121 1:国立 2:公立 3:私立	※122 1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校高等 7:専修学校専門	※123 1:自宅 2:自宅外						
	妹	岡大 花子 (18才)	※129 1:国立 2:公立 3:私立	※130 1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校高等 7:専修学校専門	※131 1:自宅 2:自宅外						
者		()才	※137 1:国立 2:公立 3:私立	※138 1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校高等 7:専修学校専門	※139 1:自宅 2:自宅外						
		()年	※145 1:国立 2:公立 3:私立	※146 1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大学 5:高等専門学校 6:専修学校高等 7:専修学校専門	※147 1:自宅 2:自宅外						
特別	母子・父子帯	続柄	死亡・生別の別	時期	201						
	障害者の世帯	続柄	障害者手帳等の番号	該当者	0:非該当 1:該当						
関係	長期療養者の世帯	続柄	療養期間	療養種別	療養費年額(円)	年額合計(千円)					
	主たる家計支持者別居の世帯	続柄	別居先の住所	特別に支出した金額(円)	208						
大学認定	火災・風水害等の被災世帯	被災年月日	被災内容	被害額(円)	213						
	家族数	218	独立生計	221	生活保護世帯	222	学力	223	申請区分	224	辞退

独立生計者は、「1:自宅」となる。

今年度受給する奨学金(予約採用を含む)、昨年度に受給した奨学金に○をつけ、1~3の合計と、4の受給金額を記入する。
日本学生支援機構以外の奨学金については、名称も記入し、貸与か給付に○をつける。

【就学者】とは、
小学校・中学校(特別支援学校を含む)、
高等学校(通信制・専攻科・別科を含む)、
高等専門学校(専攻科・別科を含む)、
大学(大学院・別科・専攻科・通信教育部を含む)
及び 専修学校(高等課程・専門課程)に在学している方をいいます。
水産大学校、農業大学校、職業能力開発大学校、
防衛大学校等及び 専修学校生(一般課程)、
研究生、科目等履修生、補習科生、「各種学校」
に分類されるもの(予備校生等)は就学者に該当しない。

※ 前期分を申請する場合、3月卒業(見込)及び4月入学(見込)の兄弟姉妹等に注意すること。
※ 4月の状況が未定の場合は、見込みの状況を鉛筆書きにし、決定後速やかに届け出ること。

兄弟等が岡山大学在学の場合：
学部(研究科)及び学生番号を併記する。

父又は母が死亡・生別の場合：
死亡・生別の父又は母を「就学者を除く家族」欄に記入の上、この欄にも記入する。

障害者手帳や医師の証明により記入する。

長期療養者とは、診断書(様式10-①)により申請時現在治療中で6か月以上の療養期間を要すると認められる方です。
療養費年額は免除申請月からさかのぼって1年間の療養費を領収書等(様式10-②)により合計して記入する。

主たる家計支持者が別居のために特別に支出している住居費及び光熱・水道費の実費を免除申請月からさかのぼって1年間分を領収書により合計して記入する。なお、会社負担があるときは、その差額の合計となる。

授業料納期前1年以内に火災・風水害等により被害を受けたために将来支出が増大したり収入が減少して、長期にわたり著しく困窮状態におかれると認められる場合は、次により金額を記入する。
・日常生活を営むために必要な資材に被害を受けた場合：
最低限の衣料、家具の購入費、修理費等
・生産手段(田、畑、店舗等)に被害を受けた場合：
長期にわたって収入減が予想される年間金額
*単に被害額や復旧費をそのまま記入するのではない。